



2025年11月13日

各位

会社名 トヨクモ株式会社

代表者名 代表取締役社長 山本 裕次

(コード番号: 4058 東証グロース)

問合せ先 取締役経営管理本部長 石井 和彦

ir@toyokumo.co.jp

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月14日に公表した2025年12月期通期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,600	百万円 1,600	百万円 1,400	百万円 1,400	百万円 1,100	円 錢 100.66
今回修正予想 (B)	4,800	1,840	1,500	1,500	1,100	100.68
増減額 (B-A)	+200	+240	+100	+100	-	-
増減率 (%)	+4.3	+15.0	+7.1	+7.1	-	-
(参考) 前期連結実績 (2024年12月期)	3,146	1,172	1,162	1,162	841	77.21

※ 当期予想の1株当たり当期純利益は、2025年9月末時点における発行済株式数、自己株式数を考慮しております。

2. 修正の理由

当社グループは、「すべての人を非効率な仕事から解放する」というミッションの下、企業向けクラウドサービスを開発し、非効率な仕事から働き方を変革する DX サービスを提供しています。

主力サービスのひとつである安否確認サービスに関しては、従前よりブランディングのために、広告宣伝を積極的に投下していたことから、認知も上昇し、大型の契約も順調に増加しました。

また、サイボウズ株式会社の業務アプリをつくることができるクラウドサービスである kintone が順調に拡大する中、当社の kintone 連携サービスも契約数が予想を上回って推移しました。

その結果、前回発表予想と比べ 200 百万円増加し、売上高は 4,800 百万円となる見通しです。

費用面につきましては、売上が前回発表予想を上回る予想であることから、広告宣伝費を中心に積極的な追加投資を行う予定です。その結果、利益項目につきましては、営業利益は前回発表予想と比べ 100 百万円増加し 1,500 百万円、経常利益は同比 100 百万円増加し 1,500 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,100 百万円となる見通しです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上